

平成 25 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本地区の動物愛護推進事業
事業主体 (連絡先)	松本市梓川倭 2774-1 080-1023-2354
事業区分	安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	¥4,517,602 (うち支援金: 3,100,000円)

事業内容

松本市梓川倭に設置したシェルターを拠点とし下記の内容の活動をしております。

- ・ 新しい幸せな生活を見つけるための再出発のお手伝い
- ・ 放棄された命の終生成成
- ・ 動物愛護における捨てさせない、産ませない、迷子にさせないための啓蒙
- ・ 災害時、非常時の時の救済活動
- ・ その他、自分自身が今できること
- ・ 松本保健所の譲渡、返還事業への協力



この活動を通し小さな命にも優しい松本市を目指します

事業効果

※1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

H25年(1月から12月)で私達のシェルターにきた犬は65頭いました。(うち5匹は仔犬で保護直後に母犬が出産しました) そのうち40頭は譲渡活動よりに譲渡されました。新聞などの広報の効果で元の飼い主に戻る犬もありました。長野県内の殺処分を減らすため、譲渡率返還率を上げるため努力しました。

また、啓蒙活動としてH25.9月には松本シネマセレクトさんの上映協力で「犬と猫と人間と 2」の映画を上映し松本Mウイングには300名の方に足を運んでいただきました。プロデューサーとのトークショーやパネル展で皆様にも被災動物の事、そして保護犬、猫の事を知って頂くきっかけ作りにもなったと思います。

H25.10月には国営アルプス安曇野公園でのイベント、11月には専門学校未来ビジネスカレッジでもパネル展をさせていただきました。沢山の方に見て知って感じて頂くきっかけ作りになったと思います。イベントを通し知って頂いた方からの問い合わせや、活動への参加なども増え譲渡率アップにもつながりました。

【目標・ねらい】

- 松本保健所の殺処分を減らす
- 保護犬の存在を広める
- 知るためのきっかけ作り
- 松本保健所の譲渡事業への協力

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

沢山の方に知ってもらうための啓蒙活動、イベントなどに力を入れ続けていきます。そして、実際に参加してもらいみんなで楽しみながら命の大切さを感じる伝える活動にしていきたいと考えています。自分たちの街の保健所をみんなで支える仕組みを確立したいです。また、防災対策にも行政との連携をとりながら積極的に取り組んでいきます。